

高梁木質バイオマス発電事業に伴う熱供給事業

○応募事業：自立・分散エネ【設備等導入】

○事業実施地：岡山県高梁市

○代表事業者：株式会社エヌディエス

○共同実施者：高梁市

○地域課題

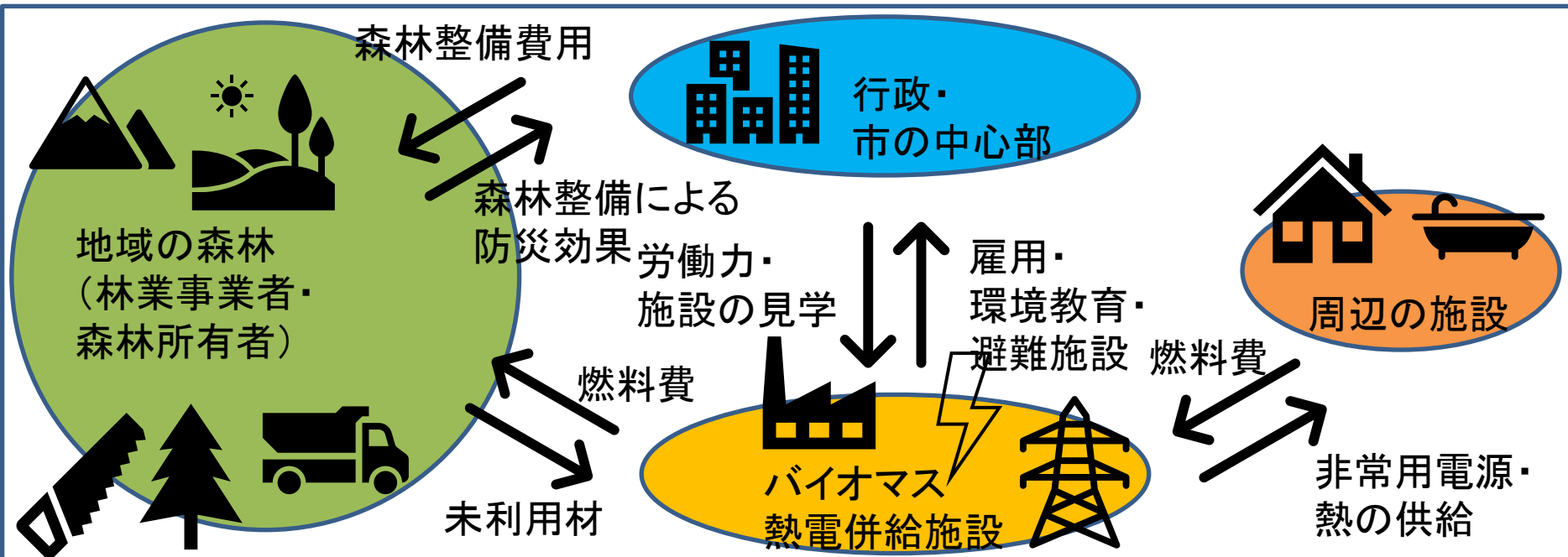
地域課題として、①平成30年7月豪雨災害による、甚大な被害の発生、②就職等を理由とした人口の流出・少子高齢化、③財政運営が厳しい状況が挙げられます。特に③の影響は本事業とも直結する課題であり、本事業の実施場所である旧朝霧温泉ゆららは、高梁市の市民のための保養施設として建設されましたが、利用客の減少が続き、10年前に閉鎖された施設です。隣接して、大規模なスポーツ公園や公共の宿泊施設神原荘がありますが、これらも利用客の低迷にあえぎ、再活性化が地域の大きな課題となっています。

○本事業を活用した地域課題の解決方策

解決方策として、①に対しては、バイオマス利用の増加による森林整備の促進、②に対しては、施設での地域住民の雇用創出、③に対しては、地域の森林を資源とした、エネルギー利用による経済循環効果を考えております。他自治体での発電施設・指定管理の実績の反映、関連会社との連携による市内外への広告効果、周辺と併せた施設での環境教育での利用等とも併せて、解決方策として役立てていきます。

全国の多くの自治体の財政状況も、同様に厳しくなっていることから、自治体施設の民間売却の事例は今後増加していくことが予想されます。本事業は、その先導的なモデルとなることが期待されます。

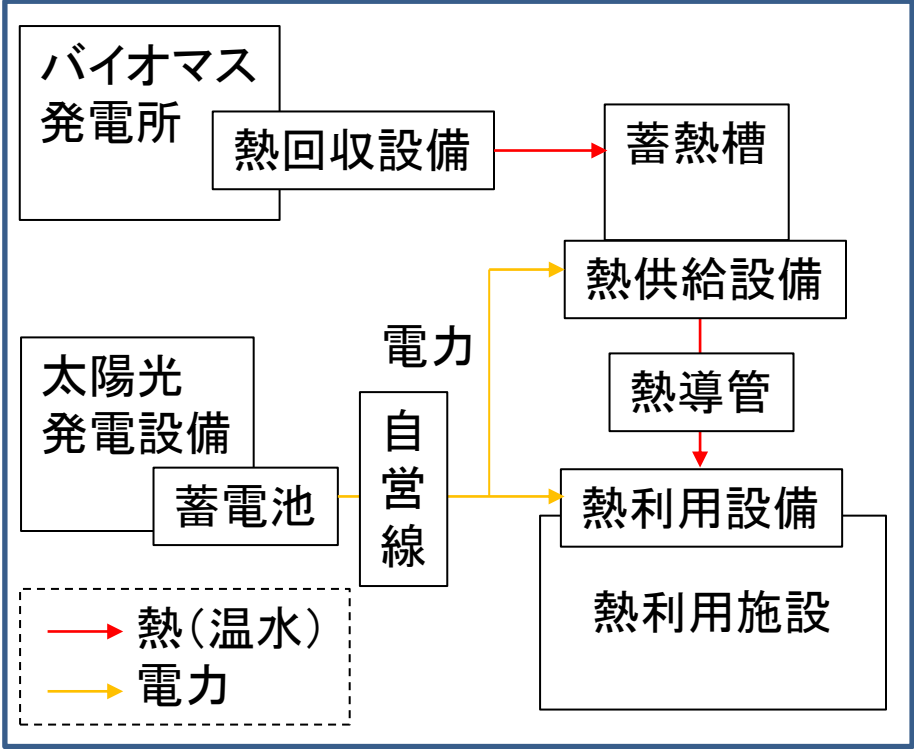
○目指す地域循環共生圏のイメージ



○事業概要

旧朝霧温泉ゆららの跡地活用事業の一環として、跡地に設置した発電所から発生する熱を周辺施設「旧朝霧温泉ゆららレストラン」「公共の宿 神原荘」「近隣福祉施設」に暖房・給湯の用途で供給します。することで日常的に二酸化炭素排出を削減し、また発電所内には蓄電池を設置し、エネルギー供給施設と自営線で接続することで、災害時におけるエネルギー自給機能を有させ、また「公共の宿 神原荘」の浴場等に災害時もエネルギー供給機能を維持させることで、災害時でも当該施設を避難施設として利用可能にします。

○導入予定の設備等のイメージ



○事業の実施体制

